検査部だより vol.17

尿沈渣検査　　機械法と目視(鏡検)法について

尿検査室では主に尿定性検査と尿沈渣検査を実施しています。
尿沈渣検査のオーダーがある場合、まずは機械(全自動尿中有形成分分析装置)による検査を行います。
機械法の結果と尿定性検査結果に乖離があった場合(クロスチェック)や前回値に何らかの異常があった場合(前回値チェック)などに目視法が自動追加され、技師が鏡検し報告しています！

全自動尿中有形成分分析装置
原理：フローサイトメトリー方式

クロスチェック
前回値チェック
疾患チェック
その他

目視追加！

目視(鏡検)法

項目名	結果	コメント
一般検査		
尿定性		
比重	1.002	
pH	6.0	
蛋白	-	
糖	-	
ｹﾄﾝ体	-	
潜血	-	
ｳﾛﾋﾞﾘﾉｰｹﾞﾝ	+-	
ﾋﾞﾘﾙﾋﾞﾝ	-	
亜硝酸塩	-	
白血球反応	-	
濁度	-	
尿色調	淡黄色	
P/C	dilute	
A/C	dilute	
Uﾌﾛｰｻｲﾄ		
ｴﾝﾁｭｳ	0.00	
ｻｲｷﾝ	7.1	
ｾｯｹｯｷｭｳ	1.00	
ﾊｯｸｯｷｭｳ	4.30	
ｼﾞｮｳﾋEP	11.60	
Uｶﾝｻﾝﾁ		

項目名	結果	コメント
ｻｲｷﾝ	-	
ｾｯｹｯｷｭｳ	<1	
ﾊｯｸｯｷｭｳ	<1	
ｼﾞｮｳﾋEP	1-4	
ｴﾝﾁｭｳ	-	
ﾁﾝｻ ｽｸﾘ	目視済	
円柱	-	
細菌	-	
赤血球	<1	
白血球	<1	
扁平上皮	1-4	
尿路上皮	<1	
尿細管上皮	<1	
T-BIL	0.5	

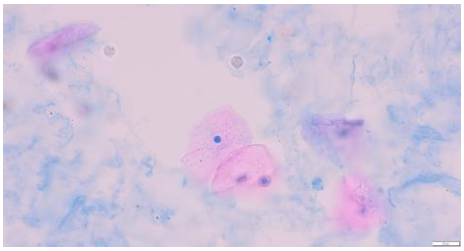
赤枠→機械法
青枠→目視法

結果報告画面

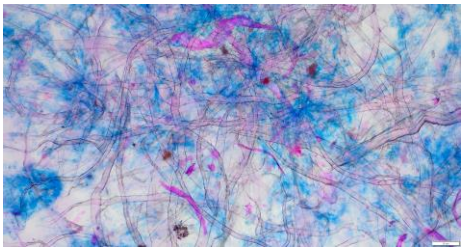
目視法では非上皮細胞類(赤血球、白血球)、上皮細胞類(尿細管上皮細胞、尿路上皮細胞、扁平上皮細胞など)、円柱類、塩類・結晶類、微生物類・寄生虫類などの形態観察とカウントをしています。
また、ウイルス感染疑い細胞や異型細胞、気になる所見が得られた場合は右のような「尿沈渣検査報告書」を作成し、主治医へ報告をしています。

注意！

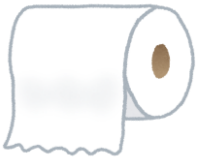
トイレットペーパーなどのティッシュ繊維が尿中に混入すると、尿沈渣の判定が困難になる場合があります。
採尿の際は、混入に気を付けるようお声がけを宜しくお願いします。



ティッシュ繊維混入なし



ティッシュ繊維混入あり



文責：深瀬晶予・後藤優宝

ご不明点などありましたら、お気軽に尿検査室までお問合せください（内線7382）